

小野田リンカル通信

2023

11-12月

今月のご挨拶

師走の足音が聞こえ、日々寒さが厳しさを増す季節になってきました。今回は弊社の製品に含まれる「丹」の効果について、畜産学会で発表した試験結果についてのお話です。

～丹について畜産学会で発表！～

「鉄の経口給与が経産牛に及ぼす影響」のタイトルで発表をしました。今回から3回に分けて特集します。

<試験の条件>

【畜種】

ホルスタイン種経産牛18頭

給与区9頭/対照区9頭

【給与飼料】

対照区：飼料

給与区：飼料＋「丹」入り混合飼料

※ 試験に使用した銘柄について、詳しくは裏面の商品紹介をご覧ください！

「丹」が酸素供給量の増加を促進し貧血予防によって食欲増進につながることが期待できます！



何でだろう？

その理由は…

血液に含まれる

①赤血球の割合

②鉄分濃度

が低くなりすぎると貧血の症状が表れます。

ここで、鉄分の多い「丹」を補給すると、①と②が高く保たれ、**貧血予防**につながることを期待できるのです！！



そのデータが↓こちら↓です！

試験開始を1とした指数 — 対照区 — 給与区

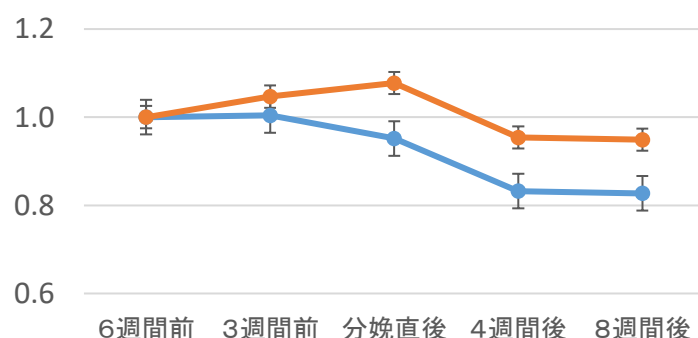


図1 血液中の赤血球の割合変化

試験開始を1とした指数 — 対照区 — 給与区

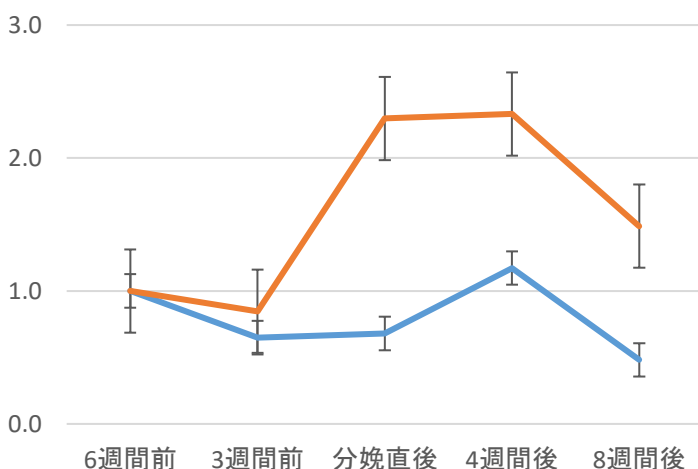


図2 出産前後における血液中の鉄濃度の推移

続きは裏面へ→



丹について



そもそも「丹」
って何なの？

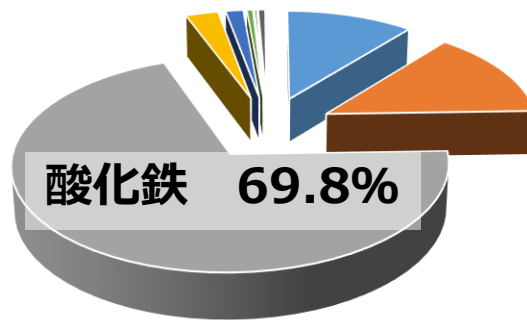


「丹」の成分って
何？

「丹」とは阿蘇火山の火口湖
の堆積物「リモナイト」の
ことです。

火口湖には、噴火により地中から排出
されたマグマに含まれるミネラル成分
が多量に流入し、植物などの有機物も
火口湖に蓄積され、水中で分離分解
されました。そこには多くの鉄分が
含まれており、天然の「ミネラル補給
資材」として利用されています。

丹の成分内訳



- 揮発性物質 ■ 二酸化ケイ素 ■ 酸化鉄
- 酸化アンモニウム ■ 酸化カルシウム ■ 酸化マグネシウム
- 酸化ナトリウム ■ 酸化カリウム ■ 三酸化硫黄
- 五酸化二リン ■ 二酸化マンガソ

次号（2回目）に続きます！

担当のひとりごと



記録的な猛暑となった夏も過ぎ去り、気づけば
師走の足音が聞こえる季節になってきました。
皆様、いかがお過ごしでしょうか。
秋と言えば、食欲の秋、行楽の秋、スポーツの秋
など秋と結びつく言葉はたくさんありますよね。
これからの季節、海外でも紅葉は見られますが、
とりわけ日本は国土のおよそ3分の2が森林で、
様々な広葉樹が生えており、寒暖差も相まって
いたるところで美しい紅葉を楽しむことができます。
木々が色づくには、最低気温が8℃を下回る
くらいが適切な気候と言われています。
天気図片手に紅葉の名所を巡り、
秋の味覚に舌鼓を打つ、
そんな秋を満喫したいですね。

名古屋地区担当 兼竹

試験に使用した製品を
ご紹介します!!

鉄分を多く含む丹シリーズを
是非ご活用ください！

ゼオ丹
マッシュ

リンカル
こな丹



ゼオライト&リモナイト
(20kg袋 粉)

リンカル&リモナイト
(20kg袋 粉)



Youtubeに固形塩の
動画をアップ
しています！

